

CASBEE京都-新築(2015年版)
(仮称)リソエ北山 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE京都-新築(2015年版)

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										
Q1 室内環境										
1 音環境										
1.1 騒音										
1.2 遮音										
開口部遮音性能: T2										
1	開口部遮音性能			5.0	1.00	5.0	0.30			
2	界壁遮音性能			3.0	-	3.0	0.30			
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	0.20			
1.3 吸音										
				3.0	-	3.0	-			
2 温熱環境										
2.1 室温制御										
1	室温			3.0	0.63	3.0	0.63			
2	外皮性能			3.0	0.38	3.0	0.38			
3	ゾーン別制御性			3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御										
				1.0	0.20	1.0	0.20			
2.3 空調方式										
				3.0	0.30	3.0	0.30			
3 光・視環境										
3.1 屋光利用										
1	屋光率	●自然	A(全国版準用)	4.2	0.30	4.0	0.30			
2	方位別開口			5.0	0.60	5.0	0.50			
3	屋光利用設備	●自然	B(推奨内容)	3.0	0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策										
1	屋光制御	●自然	B(推奨内容)	2.0	0.30	4.0	0.30			
3.3 照度										
				2.0	1.00	4.0	1.00			
3.4 照明制御										
				3.0	0.15	3.0	0.15			
				3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気質環境										
4.1 発生源対策										
1	化学汚染物質			3.2	0.25	3.6	1.00			
2	アスベスト対策			4.0	0.60	4.0	0.63			
4.2 換気										
F☆☆☆☆の建材の使用										
1	換気量			4.0	1.00	4.0	1.00			
2	自然換気性能	●自然	A(全国版準用)	2.0	0.40	3.0	0.38			
3	取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	3.0	0.33			
4.3 運用管理										
1	CO ₂ の監視			3.0	-	-	-			
2	喫煙の制御			3.0	-	-	-			
Q2 サービス性能										
1 機能性										
1.1 機能性・使いやすさ										
1	広さ・収納性			2.2	0.40	2.6	1.00			
2	高度情報通信設備対応			3.0	-	3.0	-			
3	バリアフリー計画	●大切	D(独自基準)	3.0	1.00	3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性										
1	広さ感・景観	●とも	C(独自加点)	1.0	0.30	2.0	0.40			
2	リフレッシュスペース			3.0	-	3.0	0.50			
3	内装計画	●自然	D(独自基準)	3.0	-	-	-			
1.3 維持管理										
1	維持管理に配慮した設計			1.0	1.00	1.0	0.50			
2	維持管理用機能の確保			2.5	0.30	-	-			
3	衛生管理業務			3.0	0.50	-	-			
2	2.0			2.0	0.50	-	-			
2 耐用性・信頼性										
2.1 耐震・免震										
1	耐震性			3.1	0.30	-	-			
2	免震・制振性能			3.0	0.50	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数										
1	躯体材料の耐用年数	●大切	A(全国版準用)	3.0	0.80	-	-			
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20	-	-			
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-			
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.7	0.30	-	-			
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-			
6	主要設備機器の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-			
				4.0	0.10	-	-			
				3.0	0.10	-	-			
				4.0	0.20	-	-			
				3.0	0.20	-	-			

2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3	電気設備				3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	3.0	0.50	
1	階高のゆとり				3.0	-	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)		3.0	-	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保				3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.3
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	沿道美観形成地区で認定取得	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		●とも、 自然	A'(全国版準用)		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制					3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用		●自然	A(全国版準用)		2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化		●自然	C(独自加点)	BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 1.07	3.6	0.50	-	-	3.6
集合住宅以外の評価(3a.3b)					1.0	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)				太陽光パネルの設置	3.6	1.00	-	-	
4 効率的運用					3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価					-	-	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	-	-	-	
集合住宅の評価					3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.8
1 水資源保護					3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		●自然	A(全国版準用)		3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.60	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		●大切	A(全国版準用)		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避					2.6	0.70	-	-	
1 消火剤					2.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)					3.0	0.33	-	-	
3 冷媒					3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮					3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮					2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.2	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制				自転車・駐車場・管理用駐車場の確保	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-	-	
1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2 振動					3.0	0.33	-	-	
3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照阻害の抑制					3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						-	-	-	
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制					3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					4.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		●とも	B(推奨内容)		3.0	0.30	-	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う「とも」:ともに使う「自然」:自然からつくる